

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 168

事業名	田舎の運動会		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市長公室			款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5002			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	国際交流費・13目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 伊加利地区住民及び外国人留学生など		対象人数(人) 540			
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 大阪YMCAの学生を招待し、ホームステイにより文化交流を深めることにより、国際感覚を養う。					
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 伊加利地区で運動会を開催し、留学生と交流を深め、考え方や言葉を学習することによって国際的な感覚を養う。					
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 運動会前日にホームステイを実施し、習慣文化を学ぶ。					
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(伊加利国際交流会)			
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から					

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	参加者数	指標単位 千円			
	指標説明 (指標算出方法等)	田舎の運動会に参加する住民と外国人留学生の数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値		250	250	250	
	実績値		200	344		
	達成度 (%)	-	80.0	137.6	-	
目標値設定の考え方	参加者数が交流した人数であり、何らかの影響を受けた人数と考えられる。					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	参加者数	指標単位 人			
	指標説明 (指標算出方法等)	田舎の運動会に参加する住民と外国人留学生の数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値		250	250	250	
	実績値		200	344		
	達成度 (%)	-	80.0	137.6	-	
目標値設定の考え方	参加者数が交流した人数であり、何らかの影響を受けた人数と考えられる。					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	630	630	500	500	
	補助金	630	630	500	500	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	630	630	500	500	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	75	75	75	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)		5.0	5.0	5.0	
	事業量2(事業に要した人数)		0.5	0.5	0.5	
	年間経費([A]+[B])	630	705	575	575	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	1.2	1.3	1.1	1.1		
受益者人数(513)1人当り経費(千円)	1.2	1.4	1.1	1.1		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	-	80.0	137.6	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 大阪YMCAの学生を招待し、運動会を通して地域における国際交流を深められている							4
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	-	80.0	137.6	-	
	成果向上率	%	-	-	72.0	-	
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 参加者及び関係者が留学生との交流により異文化交流を行い身近なところで、国際感覚を養うことができる。						
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	-	3.5	1.7	-	
	効率性増減率	%	-	-	52.5	-	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 留学生の宿泊についてはホームステイで対応しており、経費削減に努めている。また、地元での開催であり、より多くの住民が参加することができる。						
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 身近なところで国際交流が体験できる場であり、継続が必要と考える。						
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 留学生との交流により国際的な感覚を養うことができ、地域の活性化、コミュニティ形成に大きく貢献している点で、たいへん評価できる事業である。 今後は国際交流協会とのタイアップにより、さらに交流の輪を広げることも必要と考える。						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	市国際交流協会との連携を保ち地域活性化に向けて取り組む。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 中止することにより、これまで継続されてきた地域の努力が消え、形には見えないが地域のコミュニティ形成にマイナスとなると考えられる。	